

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 1 部門第 1 区分

【発行日】 平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公表番号】 特表 2004-533242 (P2004-533242A)

【公表日】 平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【年通号数】 公開・登録公報 2004-043

【出願番号】 特願 2002-585632 (P2002-585632)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

A 6 1 K 35/18 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 K 67/027

A 6 1 K 35/18

A 6 1 L 27/00

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 7 月 7 日 (2006.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトに移植するための非ヒト動物の器官、組織または細胞を作製するための方法であって、細胞の表面上の N-グリコシルノイラミンエピトープの発現を除去または減少させる工程を包含する、方法。

【請求項 2】

前記細胞、組織または器官がブタである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記エピトープが酵素的または化学的に除去される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、前記細胞、組織または器官が由来する動物の遺伝子操作によって前記エピトープを除去し、CMP-N-アセチルノイラミン酸ヒドロキシラーゼの発現を阻害する、方法。

【請求項 5】

前記除去される N-グリコシルノイラミンエピトープが、N-アセチルノイラミンエピトープで置換される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記細胞が赤血球である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記細胞、組織または器官を改変し、G a l エピトープを除去または減少する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法であって、前記細胞、組織または器官を改変し 1 つ以上のヒト補体調節タンパク質または過剰なブタ補体調節タンパク質を発現させる、方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法であって、前記細胞、組織または器官を改変し、G a l エピトープを除去または減少し、かつ 1 つ以上のヒト補体調節タンパク質または過剰なブタ補体調節タンパク質を発現させる、方法。

【請求項 10】

ヒトの輸血治療のための医薬品の製造における、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の方法によって作製される、前記細胞、組織または器官の使用。

【請求項 11】

医薬品における使用のための、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の方法によって作製される、前記器官、組織または細胞。

【請求項 12】

その表面上に N e u G c エピトープの発現を除去または減少する工程を包含する、組換えヒトタンパク質または非ヒトタンパク質の非ヒトにおける半減期を増大させるための、方法。

【請求項 13】

前記タンパク質が、マウスタンパク質、ブタタンパク質もしくはヤギタンパク質または他の哺乳動物タンパク質であるか、あるいは、哺乳動物細胞株由来である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記タンパク質を改変し、G a l エピトープを除去または減少する、請求項 12 に記載の方法。